



# さゆりっ子

№2

文責 畠林一成

## 令和5年度 グランドデザインによせて



「こっちだよ～」

子どもたちもお友だちと一緒に遊ぶ姿が増えてきました。

タイヤを転がして遊んでいた二人が、互いに中をのぞき合い、笑い声を上げていました。

毎日、見せ合うニコニコ顔でどんどん仲良しになっていく年少さんたちですね。

幼稚園では『遊びは学び』をキーワードに主体性を大切にする保育を推進するに当たり、3つの活動を重点に掲げています。（別紙 グランドデザイン参照）



### 元気いっぱい

朝の自由時間。思い切り走り回って鬼ごっこを楽しむ二人。

新しい学年、クラスになってすぐは、「先生、遊ぼう!」と子どもたちは先生を介してお友だちとかかわっていました。そこからまずは『一緒に』、そして好きな『鬼ごっこ』を通してお友だちとの距離を縮めています。

### 楽しさを感じ合う

いいにおいがする…昨年度いただいた板積み木。色も形もないからこそ、何にでも好きなものに見立てることができたり、遊び方の発想もいっぱいに広げたりして夢中になって遊ぶ子どもたちです。



一人で黙々と積み重ねたり、組み合わせてたり、真剣な表情で…



「僕たちより高くなった!」とハラハラドキドキ楽しそうにひたすら積み上げる。



## なかよく



1便バスに遅れちゃうかも…2時になっても起きてこないTさんを心配するMOさん。すると「Tちゃん、起きて!」とやさしくトントンしながら声を掛け始めました。するとそこにMMさん、Kさんも加わってきました。

この日はTさんのお誕生日を祝ったこともあり、今までなかなかかわれなかったお友だち同士も自然となかよしの手を伸ばし始めています。友だちの輪が広がっていく素敵な場面でした。



戸外遊びでアリを発見した二人。おなかをすかせているのかなと思い、ご飯を作ってあげることになりました。「何を食べるのかな?」とこの時はバケツ一杯の草を集めてくれていました。

自分の身近にあるもの、見えたこと、話しかけた相手…。子どもたちはどこからでも、何からでも遊び始めます。そんな子どもたちのために私たちができることは環境づくり。

「元気いっぱい」「楽しさを感じ合う」「いっしょになかよく」の3つを関連付けながら、子どもたちの興味、関心を引き出し、じっくりと浸り込める時間、空間を用意していきたいと思っています。

### アンパンチ! アンキック! (5/11)

アンパンマンはいろいろな技を繰り出すが、子どもたちの技で一番身近なのはやはり「アンパンチ、アンキック」のようである。

今時期は、子どもたちとじゃれ合うと必ずやアンパンマンになって近づいてくる子たちがいる。

園長はいつもバイキンマンで応戦することになる。

「パンチやキックはいけないよ。」で封じてしまえば、子どもの気持ちも心の中に閉じ込められてしまう。夢中になる中でも発達に応じてちょっとした”さじかげん”を身に付けていくチャンスであると考えれば、バイキンマンの反撃の加減やパンチ、キックを受けた時の「ちょっと強すぎ!」の言葉がけでいくらかでも子どもたちも考えるようになる。

距離感がつかめない、すぐに手が出てしまう等の場合もまずはその子なりの行動に伴っている感情を周りが共有しようとすることで対話の糸口が見えてくるように思う。



令和5年度 信学会さゆり幼稚園 教育方針(グランドデザイン)も配信しますので、合わせてご覧ください。

# 令和5年度 さゆり幼稚園 教育方針（グランドデザイン）



## 《信学会の教育方針》

子どもたちの主体的な学びと、他者との関わりで生まれる経験を通じて、  
生涯にわたり自ら学び続ける人間を育てる

主体性と学び  
遊びの中から育てる

子どもが主役

新たな経験との  
出会い



## さゆり幼稚園の目標

かんじる心 ちょうせんする心 げんきいっぱい さゆりっこ

## めざす子どもの姿

友だちと元気よく遊ぶ子



気づき考えて  
粘り強く行動する子

まわりのものに  
自らかかわろうとする子

きもちよくあいさつ、  
返事の言える子

力をいれていく実践的活動

## 遊びは学び

一人ひとりのかかわる姿（主体性）  
を大切にする保育

体を動かし、  
心も体も元気に

○じっくりと遊び込む。

○元気いっぱい遊ぶ。

（朝の体操・体をつかった遊び・集団遊び）

たのしそう、おもしろそう  
やってみよう

○つくる、あらかず楽しさを感じ合う。

○季節、自然を楽しむ。

（作品作り・お楽しみ発表会・季節の行事・園外保育）

おはよう、ありがとうで  
みんないい気持ち

○いっしょになかよく遊ぶ。

○ふわふわことばを伝え合う。

（なかよしの日・お誕生会・感謝訪問）

## 私たちが大切にしていくこと

### 環境づくり

身近なひと、もの、こ  
と、すべてが遊びの出  
発点。興味、関心を触  
発する環境をつくる。

### 子ども理解

保育を進める基盤。育  
ちの記録で広め、深め  
る。ラーニングストー  
リーで家庭と共有する。

### 安心・安全への配慮

迅速な対応。怪我を  
させない施設管理、  
見守りと個々への丁寧な対応に努める。